

科目名 Course Name	自主創造の基礎2 Self-independence and Creativity 2			ナンバリング No.	A2-013		
年次	1年	期別	後期	単位数	2単位	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡先(質問等)	メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>「自主創造の基礎2」では、「自主創造の基礎1」で培った主体性やコミュニケーション力等を踏まえ、日本大学3年次編入への学習を深め、キャリア・アップを深化することを学習する。</p> <p>①グループワーク等により日本大学3年次編入について多角的な視点をもつことができるようにする。</p> <p>②編入先以外の関連学問領域を理解することで横断的な視点をもつことができるようにする。</p> <p>③多様な文化、価値観を学習し、チームワーク力を発揮できるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、自主創造に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02	<p>①グループワーク等により日本大学3年次編入について多角的な視点をもつことができる。</p> <p>②編入先以外の関連学問領域を学習することで横断的な視点をもつことができる。</p> <p>③多様な文化、価値観を学習し、チームワーク力を発揮できる。</p>					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	『“自主創造”のための Learning Guide』(日本大学 FD ガイドブック)及び長江庸泰作成の“デジタルテキスト[自主創造 2021 年度版]”を活用する。						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:41年)、実務経験を自主創造活動の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。		10		
レポート/作品	Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。		30		
発表	Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。		20		
小テスト	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59		20		
試験	成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-		20		

	89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			
その他	上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			
合計			100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	社会福祉学、国際関係学、生産工学の視点を考える1:各施設設備。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	社会福祉学、国際関係学、生産工学の視点から社会的課題を調べる2:各学問体系。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	社会福祉学、国際関係学、生産工学の視点から社会的課題を調べる3:3年次編入への動機付け。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	ワールド・カフェ(N-MIX)1:グループワークとディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	ワールド・カフェ(N-MIX)2:グループワークとディスカッションのまとめと発表。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	社会福祉学、国際関係学、生産工学の視点から社会的課題を調べる1:施設設備の活用法のまとめ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	社会福祉学、国際関係学、生産工学の視点から社会的課題を調べる 2:専攻先のまとめ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	社会福祉学、国際関係学、生産工学の視点から社会的課題を調べる 3:日本大学卒業後のキャリア・アップのまとめ。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	グループワークでの議論・報告1。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	グループワークでの議論・報告2。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
12	授業内容	キャリアパス教育1 キャリア形成について考える。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	キャリアパス教育2 自分のキャリア形成について考える。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	プレゼンテーション1。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	プレゼンテーション2、まとめと総括。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。